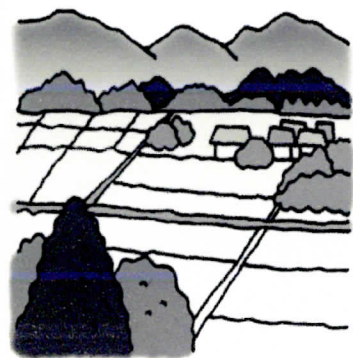


新発田市議会報告 一般質問の要旨(3月9日)



質問（渡辺） 米戸別所得補償モデル事業が認定農業者、集落営農組織等の地域農業の担い手に及ぼす影響について

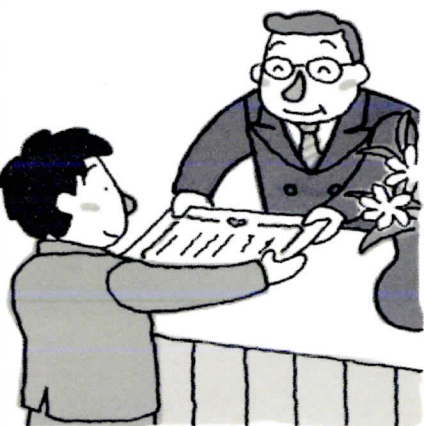
答弁（市長） 平成22年度の国からの交付金は今年度と比較して増額となる事が予想される。農業収入面では認定農業者、集落営農組織への影響はないと考える。しかし小規模農家からの新規の農地貸付が進まない状況が懸念される。

質問（渡辺） 民主党政権による「コンクリートから人へ」の政策で「農業農村整備事業予算」が大幅削減された、当市の圃場整備の進捗や用排水路等の修理、維持管理への影響について

答弁（市長） 当市の土地改良区による圃場整備は17地区で工事が行われているが、大幅な遅延が予想される。用排水路等の維持管理も老朽化が著しく大きな課題となっている。

質問（渡辺） 日本の食料産業の総産出額は約65兆円、その内わづか約8兆円が農業者である第一次産業の産出額である。二次産業、三次産業である食品加工、流通、販売に係わる部分が57兆円だ。農家所得向上、農村地域活性化の為に6次産業化による農産物直売場の推進についての考えは

答弁（市長） 農業の「6次産業化」の推進については「食の循環によるまちづくり」の分野を担う重要な取り組みとして大いに推進してまいりたい。



質問（渡辺） 当市の大学、短大、高校生の新卒予定者の就職内定状況と雇用情勢について

答弁（市長） 1月末現在で大学、短大、専門学校の新卒予定者の就職内定率は64.9% 高校では82.5%と厳しい状況です。ハローワーク新発田や関係機関と連携し適切な雇用対策に努めてまいります。

質問（渡辺） 中学校の職場体験学習の教育効果及び受け入れ事業者の現状と課題について

答弁（教育長） 子供達にとって望ましい勤労観、職業観を身に付ける事やコミュニケーション能力の向上、社会的なルールやマナーを体得する事が出来ます。そして地元への愛着や誇りを持つなど教育活動として重要な意味を持っています。
しかし、受け入れ先の民間企業において、負担を感じているところもあります。より多くの民間企業から可能な限りご協力いただけるようお願いしています。